

# ミステリ読書案内

2022. 7. 4 発行元

第372号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

## 鯨統一郎の代表作

鯨統一郎の代表作はなかなか選びにくい。誰も『邪馬台国はどこですか?』は問題なく挙げられると思うが、その次からが難しい。独特の作風なので、多方面からの読み方が可能だと考えるからだ。さて、結果は…?

### どの作品も同等の面白さ

代表作として『新・日本の七不思議』や『新・世界の七不思議』を選んだのでは『邪馬台国はどこですか?』と同じ流れになってしまうので、別傾向の作品をふたつ選んでみることにした。

「本格もの」作家としての鯨を現す長編作品として考えたのが『冷たい太陽』。他に『金閣寺に密室』や『文章魔街道』、『パラドックス学園』なども候補に挙げてみたが、比較的最近の作品ということで『冷たい太陽』にした。

鯨はどちらかと言えば短編を得

意とする作家なので、三番目はシリーズものから選ぶことにした。

『なみだ研究所』シリーズ、『桜川東子』シリーズ、『歴史パトラーつばさ』『江古田』『亜美の日記』『堀アンナ』…とたくさんある。でも私には一番古い『タイムスリップ』シリーズに馴染みがある。歴史ミステリの代表である。

最近ではやたらと違う時代へのタイムスリップ・トラベルを取り入れたミステリが増え始めて、ちょっと気にかかっている。20年前の鯨作品は当時としては新鮮味があった。娯楽性優先の内容にはなっているけれども…。

### NO.3「タイムスリップ森鷗外」

2002年講談社ノベルス。『タイムスリップ』シリーズは現在までで10作出ている。本書はその第一作。1922年61歳の森鷗外は、ふとしたきっかけで2002年の渋谷の道玄坂にタイムスリップすることに。そこで出会ったのが女子高生の「麓うらら」。この後のシリーズの中心になっていくのが麓うららである。本書では森鷗外の視点で描かれている。

鷗外はうららとともに現代で生活する中で、自分の死と芥川龍之介や太宰治などの昭和初期の作家たちに共通する謎に取り組んでいくことになる。歴代のミステリはじめ各種の文学本が登場する。話があちこちに吹っ飛ぶことも時には面白い。鯨統一郎らしい味わいが十分に込められた一作と言ってよい。

### NO.1「邪馬台国はどこですか?」

1998年創元推理文庫。創元推理短編賞の候補になった

『邪馬台国はどこですか?』に更に5編の短編を加えた歴史ミステリとして出版された。『このミステリーがすごい!』年間ランキングの第八位になり、注目を集めた。鯨統一郎のデビュー作となる。最初の頃は「覆面作家」を名乗っていた。「判定不能」な作家の本領発揮と言うべき魅力に溢れた本。

「邪馬台国」については高木彬光をはじめとする多くのミステリ作家が興味を持ち、いろいろな論を展開している。鯨の『邪馬台国はどこですか?』もその流れに沿ったもの。バーテンダー・松永のいる店での歴史パトラー。三谷敦彦教授と早乙女静香助手、それにライターを名乗る在野の研究者・宮田六郎。「邪馬台国論争」は『魏志倭人伝』の記述からスタートして、基本的には「畿内説」と「九州説」の対立が基本の構造である。三角縁神獣鏡だったり、古墳だったり、発掘されたものなども根拠に使われたりもする。私も数多くの本を読んでいるので、論点は承知している。決め手はいまのところはっきりしていないのである。私は「邪馬台国・卑弥呼」に拘り過ぎずに、DNA解析などによる科学的な古代人の解明ができればと望んでいる。鯨統一郎の結論はミステリとして読むものとしては大変面白い。そういうこともあるかな? くらいの受け止め。

### No.2「冷たい太陽」

2014年原書房。『ミステリーリーグ』の一冊。「本格ミステリー大賞」にもノミネートされた強烈な作品。最近の鯨作品は読みやすいのが特徴だが、ぶっ飛び会話文につられて先を急ぎ過ぎると、筋・人物関係を理解できずに混乱してしまうこともあるから要注意。

テーマは「誘拐」。出だしから次々といろいろな人物が登場し、「冷たい太陽」という名前のダイヤモンドも出てくるけれども…。そして、「あすなろ幼稚園」の園外活動の場面があって…。そんな中で五千万円を要求する誘拐事件が発生する。お金を必要とするいろいろな人物が金策に走り回り、犯人からの電話が入り…。山崎探偵事務所の探偵、やがては警察も巻き込まれていくという混乱状態が展開していく。この辺、解決を読むいろいろな仕掛けがなされていることがわかる。でも、実際その場面を読んでいる途中では想像もつかないようなことが多い。まあ、フェアかどうかと問題視する読者もいるだろうし、騙されることを楽しみに読む読者もいるだろうし、いろいろな意味で振り回される作品。「冷たい太陽」…う～ん、どうだろう? ?